

福岡教区のアプリができました。スマートフォンで教区情報を簡単に得ることができます。詳細は教区ホームページでご確認ください。

訃報

パウロ森 一弘名誉司教(東京大司教区)

2023年9月2日(土)、上部消化管出血の為、東京通信病院にて帰天。享年84。

【略歴】
1938年10月12日 神奈川県横浜市に生まれる
1954年4月 栄光学園聖堂にて受洗
1967年3月 司祭叙階(ローマにて)
1977年8月~1981年3月 関口教会助任
1981年4月~1985年1月 関口教会主任
1984年12月 東京大司教区補佐司教任命
1985年2月 司教叙階
2000年5月 東京大司教区補佐司教退任
【役職】1985年11月~2021年6月 真生会館(東京都新宿区信濃町)理事長を務める。※真生会館の詳細は上記QRコードからご覧ください。



©カトリック東京大司教区MAF



Together -ともに歩もう-
~テゼ共同の歌と共に~
教皇フランシスコの呼び掛けに応えよう!
世界代表司教会議(シノドス)に向けた
キリスト諸教派と共に祈る集い

【日時】10月1日(日) 17:30-18:30
【場所】カテドラル大名町教会大聖堂
【問合せ先】TEL 092・581・0570
(光丘教会:十時神父)

カトリック福岡司教区 協賛

水俣・福岡展

MINAMATA Fukuoka Exhibition 2023

会期: 2023年10月7日[土]~11月14日[火]
(水曜休館)
時間: 午前9時30分~午後6時
(金・土は8時、最終日は4時まで)
会場: 福岡アジア美術館(福岡市博多区下川端町3-1 リパレインセンタービル7・8階)
【展示】7階 企画ギャラリー
【ホールプログラム】
8階 あじびホール
※詳細は右記QRコードからご覧ください。



カトリック福岡司教区 協賛

水俣・福岡展

MINAMATA Fukuoka Exhibition 2023

会期: 2023年10月7日[土]~11月14日[火]
(水曜休館)
時間: 午前9時30分~午後6時
(金・土は8時、最終日は4時まで)
会場: 福岡アジア美術館(福岡市博多区下川端町3-1 リパレインセンタービル7・8階)
【展示】7階 企画ギャラリー
【ホールプログラム】
8階 あじびホール
※詳細は右記QRコードからご覧ください。



ワールドユースデー

リスボン大会に参加して

武蔵ヶ丘教会: 大水あかり・坂本愛子・本村隆紘

私たちは8月1日から6日まで、ポルトガルのリスボンで開催されたワールドユースデーに参加した。7月下旬から8月上旬にかけて約2週間の日程であった。まず、リスボンでの本大会までにコインブラで5日間ホームステイをした。ホストファミリーと交流し、ポルトガルの文化や教会に触れ、他国の巡礼者との交流を楽しんだ。リスボンでは、日本巡礼団のミサで3人の司教様からお言葉を頂き、大会期間中の日々はかなりの過酷だった。全員が体育館で雑魚寝をしたり、長距離の散歩を楽しんだ。リスボンでは、日本巡礼団のミサで3人の司教様からお言葉を頂き、大会期間中の日々はかなりの過酷だった。全員が体育館で雑魚寝をしたり、長距離の散歩を楽しんだ。

キリスト教信仰がメジャーである世界の若者たちとの交流は一生の財産になった。日本青年たちのパワーはまだまだ有り余っている。今後の教会活動に積極的に参加して日本カトリック教会を盛り上げていきたい。(本村)



(左から) 大水さん、坂本さん、本村さん

「神さま、私にお与えください。自分に変えられないものを受け入れる落ち着きを。変えられるものは、変えていく勇気を。そして2つのものを見分ける賢さを。」アメリカの神学者ライオンホルド・ニーバー(1892-1971)の作とされている言葉。通称「ニーバーの祈り」と言われる。「平静の祈り」、「静穏の祈り」とも呼ばれている▼この祈りに出会ったのは今から28年前。福岡市博多区にある美野島司牧センターにダルク(DARQ・薬物依存症者回復施設)が開設された。その時初めて参加したダルクの回復プログラムのオープンミーティングで聞いた。ミーティングでメンバーは一人ひとり「薬物依存の○○です」とアノニマスネーム(匿名の名前)を名乗ってから自分の体験を分かち合う。そのミーティングの終わりに参加者全員が手をつないでこの「祈り」を唱える▼二つのことに驚いた。ひとつは「薬物依存の○○」と名乗って自分の思いを語り始めたこと。後で気づいたのだが、回復はまず自分が薬物依存者であることを認めることから始まるという。認めてそれを宣言することがどんなに大へんなことなのか後で知った。もうひとつは、弱い自分を認めて神に勇気と英知を願い求めること。彼らはハイパーパワー(より高みからの力)に祈る▼教皇フランシスコは「あなたは誰ですか」と問われたらどのように答えますか、という問いに「私は罪人です」と答えられた。自分の弱さを認めること、弱い自分を変えてくださいと本気で祈る難しさを痛感している。(Y)

シノドス(世界代表司教会議)第16回通常総会第1会期が始まる

「シノドスと福音宣教の月間に寄せて」

福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教

シノドス・アベイヤ司教
「燃える心」と聞くと、何か強烈な体験を想像するかも知れませんが、そうではありません。「静かに燃える」と考えたらいいと思います。言い換えれば、心のうちに「信仰をもってよかった」と思うときに感じる「深いありがたさ」のようなものです。失いたくない宝物です。最近、佐賀県の鹿島の地域を中心に佐賀、福岡、大分県で十六・十七世紀に宣教活動に励んだドミニコ会の福者ヤシント・オルファネル(JACINTO ORFANEL)が、迫害されていた教会について書いた記録を読みました。オルファネル師が上長に送ったレポートです。当時の教会の歩みを非常に詳しく報告しています。難しい状況の中で信仰を生き延びている信徒の姿と、その歩みを命がけで支えている宣教師たちの働きは、強く心に響きました。逮捕され、恐ろしい拷問をうけても信仰を証しし、また、殉教において神を賛美しながら自分の信仰を宣言したキリスト者たちの力がどこから生まれて来たかを考えさせられます。「心が燃えていた」ということです。あの人々にとってイエスとの出会いは人生に光をもたらし、彼らを神に愛されている確信に導きました。それなら、安心してすべてを天の父に任せられます。

時の話題

刑務所の受刑者へ洗礼を受ける

厳肅に、大きな声で「父と子と聖霊の名によってあなたに洗礼を授けます」と言う。私は今、熊本刑務所で、刑務官にガラスのコップに入れた水を持って来てもらい、洗礼を受けている。水は、私の前に座っている耳の不自由な受刑者の坊主頭の上を流れ、下のテーブルの上に落ちる。

洗礼を授かったのは8歳の老人で、私は彼に「シメオン」という新しい名前を与えた。残念ながら刑務所の規則が厳しいため、刑務所が提供する以外の食べ物を受刑者に与えることはできない。そのため、私は成人のための入信の秘跡を完全に行うことができなかった。堅信の秘跡も聖体拝領もできない。授けたのは洗礼、それだけだ。これは、私が刑務所という場で生きる兄弟姉妹と関わりを持ち始めて6年目にして初めて刑務所で行われた洗礼であった。

3年前からは、熊本刑務所で希望する受刑者にカトリックの信仰を伝えている。刑務所が主催する再教育プログラムの一環である。月に一度、他の人たちと一緒に受刑者に会い、その後30分ほど個別に会う。来月は祈りの小冊子をプレゼントし、信仰を深める本を数冊用意する予定だ。

神が人の心にどのように働きかけるか私には分からないが、受刑者が洗礼を受けたいと願いつつ、その氷山の一角が見えることだけは分かる。これもまた、イエス・キリストがすべての人に与える救いを賛美し、感謝する理由となる。

宣教師である私は、日本に住む神の子どもたちに対するイエス・キリストの愛の道具であり、証し人であることを嬉しく思う。

菊池・山鹿教会主任
シルバノ・タ・ロイト神父

カトリック福岡教区報

ヨゼフ・アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人
カトリック福岡司教区
編集人 山元 真
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

10月の意向

【教皇の意向】 シノドス

【日本の教会】 福音宣教

教皇様の意向のために祈りましょう

◆ 福岡教区宣教司牧方針を受けて ◆

2022年4月、福岡教区の「宣教司牧方針」が発表されました。教区報では、「宣教司牧方針」を受け、各小教区や団体で取り組んでいること、心がけていることなどについて、具体的な活動を紹介しています。

「宣教司牧方針」は右記QRコードからご覧になれます

国際色豊かな共同体を目指して
武雄教会

7月16日(日)、アペイヤ司教様の司牧訪問があり、コロンビア出身アメリカ人留学生(高校生)の初聖体式が行われた。武雄在住のコロンビア人信徒の通訳で事前の勉強会が行われ、当日は司教様の司式により、スペイン語・英語・日本語を交えた主日ミサと初聖体式が行われた。留学生の両親が住むフロリダへも中継され、喜びを共有した。

信徒減少傾向が進む中、外国籍信徒との親交により共同体が元気づけられている。聖母被昇天の祭日にはベトナム人信徒との結婚を予定している方の入信の秘跡、9月の主日にはコロンビア人信徒と日本人信徒との結婚式が行われた。新たな希望の光に感謝せずにはいられない。

武雄教会は、フィリピン人、ベトナム人、コロンビア人、韓国人等、日本人より多くの外国人信徒のミサ参加がある。外国籍信徒にもミサの中で役割を担ってもらい、ミサ後はお茶を飲みながら親交を深めている。外国籍信徒との交わりで学ぶことは多い。聖母マリア崇敬やノヴェナ、聖体礼拝等の信仰習慣を聞くとき、自分たちの祈りのあり方を考えるきっかけとなる。その一つとして、今年から初金の「聖体賛美式(Benediction)」を実践している。

武雄教会はイエスのみ心に捧げられた共同体で、ご聖体と聖心への信心がアイデンティティーであると感じる。それは外国籍信徒との交わりを深めるきっかけにもなっているに違いない。武雄温泉駅のホームから教会を望むことができる。西九州新幹線の開通以来、韓国の団体や個人が巡礼に来られ、外国人観光客や長崎からの訪問も増えている。国籍を超えた人々が気軽に立ち寄り、共に祈ることは喜ばしい。さらに国際色豊かな共同体を目指していきたいと思っている。

司教様の司牧訪問(上)
聖母被昇天の祭日(下)

2023日本カトリック平和旬間賛同企画
教区主催「平和を祈る集い」

コスタリカの魅力を語る足立氏

8月11日(山の日祝日)、カテドラル大名町教会にて、福岡教区社会福音化委員会(正義と平和・人権部)主催「平和を祈る集い」(共催、社会福音ネットワーク・福岡)が開催された。初めての教区全体での企画である。午前は、子どもたちによる「平和への思い作文発表会」。作文は教区5地区から123作品が寄せられた。各地区より、小学校低学年の部、小学校高学

午後は、「軍隊を持たない国。コスタリカ共和国」と題して、コスタリカ社会科学研究所代表理事の足立力也氏による講演会が行われた。コスタリカの自然の紹介、民主主義国家としての歩みの中で子どもたちへの教育(人権問題の理解や、子どもたちも参加

する選挙制度を大切にしていることや、「平和で持続可能な国家としての歩み」について興味深く話された。

年部、中学生・高校生の部、各代表の作品が大聖堂で子どもたちにより発表された(欠席した子どもの作品は福岡地区青年が代読)。トッブバッターの高岸杏奈さん(箱崎教会・中学3年)は明るくはつきりした声で、「世界に目を向けよう、問題を知り理解して行動を起こしましょう。そのために祈ることと神さまの力をいただき平和への一歩を踏み出しましょう」と発表した。

3つの企画で延べ400人の一般信徒、修道者と司祭が参加(Youtube視聴回数は当日夜で450回超え)。一階の講堂では、子どもたちの全作文123作品と、平和をテーマに教区の皆様から寄せられた351の俳句、短歌が展示された。尚、当日集まった献金は、外国人支援グループとミリア・とも生き会(困難を抱えている人や子どもに寄り添う会)に寄付された。今年の企画実施にあたり、教区における各団体のご協力に感謝を申し上げます。

社会福音化委員会 正義と平和・人権部 青木篤孝(高宮教会)

各地区の
平和行事

福岡地区

【大名町教会】8月6日と13日主日ミサでのお知らせの時間に、教区主催「平和を祈る集い」に子どもたちが応募した作文をそれぞれで発表し、ミサに集まっていた一同とともに平和に想いを寄せる時間を過ごした。

【西新教会】8月13日(日)10時ミサ後、聖堂にて約40人が参加し、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館の2021年企画展「わが命つぎるとも―神父たちのヒロシマと復活への道―」DVDを鑑賞(30分)。

【糸島教会】8月6日(日)山口好信神父(協力司祭・鹿児島教区)の話、アペイヤ司教の平和へのメッセージ代読、また「平和を祈る集い」に応募した子どもたちの作文を聴き、続いて戦中戦後・若者で「今、思うこと」をテーマにリレートークと分かち合いを行った。その後平和の歌を歌ったり、祈りを唱えた。

佐賀地区

【唐津教会】8月6日(日)9時ミサ後、聖堂で「平和の祈りと分かち合い」をテーマに60人が集い、江夏國彦主任司祭の平和についての話や子どもたちの作文発表、ベトナム語の歌唱や大人と子どもとに分かれての分かち合いを行い、最後にアシジの聖フランシスコの「平和の祈り」を唱えた。

【伊万里教会】終戦記念日にもあたる8月15日聖母被昇天の祭日のミサ前に、マリヤ様に平和への取り次ぎを願うロザリオの祈り(1環)を約30人の信徒が集って唱えた。

筑後地区

【久留米教会】毎年千羽鶴を折り、広島・長崎へ届けていたが、この3年はコロナ禍もあり、今年は、平日のミサ前に「平和への祈り」を唱えた。来年は千羽鶴を届ける予定。また、日曜学校の子どもたちは、夏休みの黙想会で平和学習として、宮崎保司主任司祭(神言会)の講話を聴き、

熊本地区

【健軍教会】8月13日(日)9時半ミサの中で、信徒の「戦争体験から平和を考える」の話を聴き、平和の意向で日本語、中国語、ルーマニア語英語の4か国語による共同祈願を行った。そして通常は席を回って集める献金を、この日は「平和献金」として献金箱を設置し、その箱を奉納した。外国籍信徒の方々の平和を願う共同祈願を分かち合うことで、世界各地で続く戦争、紛争の終息を、心を合わせて神様に願うことができた。

【手取教会】中庭に平和へのメッセージを書いて貼る大樹モニュメントを置き、通りの市民にも声をかけて書いてもらい聖堂にも招いた。祭壇前にはLEDの光文字「平和」を演出。聖歌隊、オルガニストの音楽も響き、平和の雰囲気を感じながらその尊さを考え願う時を過ごした。

【山鹿・菊池教会】子どもたちによる平和の絵の展示。山鹿教会信徒の戦争体験や、

カトリック福岡教区幼児教育連盟
第32回教職員研修大会

8月21日(月)〜22日(火)

【老司教会】平和旬間中はミサで祈りや共同祈願を捧げ、聖堂には平和に関する本や、教区主催「平和を祈る集い」に投稿された作品を展示した。猛暑でミサ参加者数も少なかったため、9月24日に平和に関する集いを持つ予定。

北九州地区

【水巻教会】8月6日(日)のミサ後、聖堂に約30人ほどが集い、コロナ禍で中止していた大人のための日曜学校と題した大人の信徒向け教会学校を再開。谷口尚志主任司祭が、教皇フランシスコの『回勅・兄弟の皆さん』を参照して作成した資料をもとに平和について考え、教皇の言葉を

一同で共有し、胸に刻んだ。

分かち合いを行った。

菊池教会信徒30代母親の環境と平和への想いを聴いた。その他、菊池教会信徒父娘の手作り紙芝居や子どもたちの作文発表、詩や平和メッセージ朗読、歌や折りなど盛りだくさんの内容で平和について考えた。

計報

クマール・ミカエル氏

クマール・ミカエル氏
クマール・ミカエル氏(高宮教会主任、カプチン・フランシスコ会)のご令兄。8月1日インドで帰天。享年50。

ゼノン・イエール神父
(サン・スルピス司教会)



8月12日帰天。享年99。
1924年7月24日カナダ・ケベック州生まれ。
1949年6月モントリオール教区司祭として叙階。
1951年にスルピス会に入会。ローマで聖書を修めて1953年に来日し、50年以上にわたり福岡の大神学院(現福岡カトリック神学院)の養成者として司祭養成のために尽力した。聖書思想事典などの邦訳や共同訳聖書出版にも携わった。2004年カナダに帰国後も、モントリオール大神学院にて図書館等で奉仕し、引退後はスルピス会管区本部で静養していた。み言葉と日本をこよなく愛し、教え子たちに愛された生涯だった。

マリア・コロンバ

黒澤田 鶴子 修道女

8月30日帰天。享年94。誓願生活29年でした。

ジェルメン 山谷 八重子 修道女

8月19日帰天。享年98。修道生活74年でした。

サンパウロ
福岡宣教センター

営業時間:
10:00~18:00
定休日:日曜日・祝日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0042 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOUEN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

熊本地区「教会に沿った活動を！」

7月25日(火)、櫻井尚明神父(手取教会主任)、浦川務神父(崎津・本渡・大江教会主任)運転のマイクロバス2台に乗車し、福岡カトリック神学院(福岡市城南区松山)に向け手取教会を出発した。

到着後は、テーマ『教会』に沿った活動について、桑原篤史神父(笹丘教会助任・聖アウグスチノ修道会)の指導で3日に分け実施し、最後は班ごとに「教会」について各自が考えたことを発表した。夕方はゲームや、最終日にはアベイヤ司教も加わりミサを捧げた。

猛暑で屋外活動は厳しかったが、2日目は海の中道水族館でイルカ、アシカショーを観覧し楽しんだ。今回は、熊本地区と笹丘教会の合同で、子ども29人にスタッフ・保護者総勢47人での開催だったが、年々子どもたちの参加は減少している。多くの子どもたちの参加を願い来年も実施したいと思う。

報告＝武蔵ヶ丘教会 黒丸雄二



中高生キャンプ FYCC「☆COME! カモ〜ン☆」

カトリック福岡地区青年会主催



テーマ「☆COME! カモ〜ン☆」は、開催当日の福音箇所から抜粋されて決まり、プログラムもこれに沿って考案したもので、レクリエーションや分かち合い、祈りの時間、ミサ等充実したときを過ごした。

約3年、コロナの影響で大声を出したり、歌ったりできなかったため、今回のFYCC17で参加者が騒いで盛り上がり、聖歌を歌っている姿を見てとても嬉しい気持ちになり感動した。また来年も無事に開催できることを祈っている。

報告＝笹丘教会 峯 源基(みねげんき)

【参加者の声】私は久留米教会で育ち、朗読や手話の奉仕を通して関わりを深めてきました。年々、初聖体を一緒に受けた仲間と教会での集いや語らいが減っています。そうしたなか、FYCC17に参加し、活動を通して出会った仲間と親睦を深めることができました。心に残った活動は「分かち合い」です。私は自分のありのままの感情を伝えても受け入れられないと思っていましたが、受け入れてくれる仲間の存在に感謝を受けました。私が私であることは素晴らしいことだと勇気づけられました。教会は、どんな自分でも受け入れ、いつ行っても「おかえり」と声をかけてくれる「帰ってくる場所」であり、そんな優しい方たちの集まる場所だと実感しました。 久留米教会 南 彩天(みなみさら)

蟬の鳴き声が鳴り響く中、8月12(土)13日(日)、大濠カトリック会館でFYCC17(Fukuoka youth catholic camp)が開催された。久しぶりに宿泊を伴う通常開催ということもあり、福岡教区の約20人の中高生が集った。

各地のサマーキャンプ便り

「知りたい！福岡教区内の修道会・宣教会」は、今号は休載いたします。

福岡地区・光丘教会「交流の輪を広げよう」

今年は3年ぶりに宿泊付きキャンプを行い、子どもから大人まで30人が集まり、様々なプログラムに取り組んだ。

テーマは、「シリアの友だちのために何ができる?」。サレジアンシスターズのシリアでの活動について、光丘教会出身の志願生2人からビデオレターで報告してもらい、その後、子どもたちは感じたことをお互いに分かち合い、一人ひとりシリアに送る手紙にした。そして、ソーメン流し・スイカ割り・かき氷・銭湯・花火・テゼの祈りなどのプログラムを通じ互いの仲を深めた。

今年は南粕屋教会からの参加者もいて、友達の輪が広がった。今後、様々な教会との交流を広げていきたい。 報告＝薬真寺健臣(やくしんけんしん)



佐賀地区「子どもも大人も」

佐賀地区宣教司牧評議会主催のサマーキャンプが7月17日(海の日)に旧多久カトリック幼稚園にて開催され、小中高生約25人に保護者やスタッフの大人が加わり、総勢約80人ほどが集まった。

午前は青年会が企画したゲームを大人も一緒に楽しみ、午後は聖母の騎士会のシスターの指導で聖歌の練習に励んだ。暑い一日ではあったが、昼食の弁当に、アイスクリーム、かき氷、スイカで楽しい夏の日を過ごすことができた。

報告＝伊万里教会 吉浦健次



筑後地区「コロナのストレスを吹き飛ばせ！」



8月3日(木)、4年ぶりに本郷小学校体育館と本郷教会信徒会館を会場に「筑後地区子どもサマーキャンプ」を開催した。

竹内英二神父(二日市教会主任)を中心に計画を進め、当日は急遽参加の子どもを含め、約56人の参加があり、スタッフを含めると約80人で開催することができた。「コロナのストレスを吹き飛ばせ!」を合言葉にレクリエーション中心の1日であったが、無事開催できたことを神様に感謝したい。

報告＝大牟田教会 田中敏行

8月6日(日)南粕屋教会で、光丘教会学校21人とグアテマラや香港など外国籍信徒も加わりバーベキュー大会が開かれた。これは先に行われた光丘教会サマーキャンプからの

南粕屋教会 交流の輪が広がる 光丘の子どもたちとバーベキュー大会

呼びかけに、3家族が参加したことへのお返しでもあった。会場設営は前日に有志が行い、当日9時のミサ後からバーベキュー、おにぎりや焼きそば、かき氷、ヨーヨー釣

8月13日(日)、今村教会で4年ぶりに夏祭りが開催された。コロナも5類に移行し、ミサも少しずつ変わってきている中、感染者数などを気にしながら何度も話し合いを重ね、「小さな夏祭り」と題し、会場に来てくれた方々と楽しい時間を過ごす事ができた。

夏祭りは主任司祭・竹森勇神父の挨拶で始まり、子どもたちのラムネ早飲み競争やスイカ割り、イル神父(オブレイト会)のトークショーなど盛り沢山のイベントであった。また、大刀洗町役場文化財係の方の協力を得、短時間ではあったが、耐震工事中の教会内部の見学もできた。高齢の信徒からは「嬉しかった」



大勢の人で賑わう今村教会前の夏祭り会場

今村教会 懐かしい教会の前で 小さな夏祭り

「懐かしい思い出がたくさんある」「最後に見れてよかった」など様々な感想を聞いた。今回も、隣の海の星保育園関係者も多数参加して盛り上がり、あつという間に、大盛況の内に祭りを終えることができた。(報告＝平田博之)

※当日の様子は、下記QRコードからご覧になれます。



南粕屋教会自慢のトトロの森と制作者

松原勝義信徒会長は「うちには遊び事ばかりです」と苦笑したが、その笑顔には、教会共同体が「家族」として歩むこと、また近隣の小教会ともつながることへの愛と喜び、そして希望があふれていた。

りなどの準備が始まった。その間、主任司祭の寺浜亮司神父は兼任する吉塚教会でミサを行い、ミサ後吉塚教会の信徒10人も一緒に駆けつけた。この日は熱中症アラートが発令されるほどの炎天下であったが、会場には屋外空調機が設置されて酷暑対策も万全。美味しい料理に会話も弾み、スイカ割りでは子どもたちの元気な声と弾ける笑顔に包まれた。最後に寺浜神父から「もちろん光丘教会も一緒に」と次のイベントの巡礼のお知らせがあり閉会した。

教皇フランシスコの『回勅ラウダート・シ』に基づきつつ環境教育的な視点から、環境問題について丁寧に説明。ライフスタイルを転換し、持続可能な環境を次世代につなごうとする、国内外の様々なエコ実践の事例も紹介する。



☆ライフスタイルの転換に向けて、ともなる歩みを『回勅ラウダート・シ』と環境保護

BOOK
読みは専科

吉川まみ(著)

税込価格1650円

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)3522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL : <http://www.st-mary-med.or.jp/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

年間目標

出向いて行く
教会となる

福岡カトリック神学院「キリスト教概論Ⅱ」開催

2023年度後期(9月～2月)一般公開講座が開催されます。この講座は前期「キリスト教概論Ⅰ」をふまえた内容で、基礎から一歩進み、応用的内容を扱うこととなりますが、前期を受講されておられなくても、ご希望の方はどなたでも受講できます。

※詳細は上記QRコード、または教区ホームページからご確認ください。

日本カトリック障がい者連絡協議会長崎全国大会
ともに・・・つんのうで！(長崎弁「一緒にいこう」)

【日時】10月14日(土)～15日(日)
【場所】長崎純心大学
長崎市三ツ山町235



※詳細は福岡教区ホームページ、または右記QRコードからご確認ください。

福岡地区カトリック女性の会 講演会

【日時】10月14日(土) 13時～15時30分
【場所】カテドラル大名町教会(1階講堂・大聖堂)
【講師】桑原篤史神父
(聖アウグスチノ修道会・笹丘教会助任)
【内容】講演会とミサ
【問合せ先】各教会の女性の会委員まで



第81回 福岡典礼聖歌研修会

【日時】10月22日(日) 14時～
【場所】カトリック笹丘教会
【内容】「詩編歌唱」「マリア賛歌」
【講師】深堀 純氏 ※参加費：感謝献金
【問合せ先】TEL092-541-3730 松山
※マスク着用・典礼聖歌集・
前回 6/25 配布「新しい『ミサの式次第』」持参

【正義と平和協議会】黙想会
「イエスにならう生き方を求めて」

【日時】10月29日(日) 16時～
30日(月) 9時～12時30分
【場所】大濠カトリック会館・宣教養成センター
【指導】ヨゼフ・アベイヤ司教
【参加費】500円(要別途：食費・宿泊費)
※申込み〆切 10月16日(月)
※1日のみの参加可
【問合せ先】TEL090-9583-2806 (高瀬)



自死された方々のために捧げる追悼ミサ

身近な人を自死で失った方、ともに祈りをささげましょう。当日参列できない方も意向をお受けします。(無料)
【日時】11月6日(月) 10時30分～12時
(交流会含む)
【場所】サンパウロ福岡宣教センター3F
(聖パウロ修道会)
【司式】青木悟神父(小倉教会主任)
【問合せ先】fukuoka.yurinokai@gmail.com (叶堂)



福岡オリーブの会

長らく休会していたオリーブの会(精神障害者とその家族)の集まりを再開します。関心ある方はご参加下さい。
【代表】江上博昭
【同伴司祭】大山悟神父
【日時】11月26日(日) 14:00～16:00
【場所】福岡カトリック神学院
福岡市城南区松山1-1-1
【参加費】無料(事前連絡不要)
【問合せ先】TEL092-871-4943 大山悟神父

— 召命を祈る集い —

福岡地区 10月17日(火) 13時30分～ 大名町教会
【問合せ先】☎ 092-921-4532 山口
北九州地区 10月12日(木) 14時～ 小倉教会
【問合せ先】☎ 0949-24-9905 藤井
熊本地区 10月16日(月) 9時50分～ 手取教会
【問合せ先】☎ 0969-79-0015
大江・崎津・本渡教会主任、浦川務神父

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報11月号」、または右記QRコードからご確認ください。



福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com



案内板

会合と催し

10月のこよみ

神学院祭2023

テーマ「タリタ、クム」(起きなさい)

【日時】11月3日(金・祝) 9時～13時
【場所】福岡カトリック神学院(福岡市城南区松山1-1-1)



神学院の朝の風景

★雨天中止(当日朝6時までに福岡教区ホームページにてお知らせします)

★飲食物の販売はありません。昼食をご持参の場合、神学院グラウンドを使用できます。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：聖性への招き
【日時】10月12日(木) 10時～15時 (8月は休み)
【内容】幼きイエスの聖テレーズ
【指導者】C.クラウドディオ神父(聖ザベリオ宣教会)
【次回】11月9日(木)
【内容】聖ガイド・マリア・コンフォルティ
【指導者】C.クラウドディオ神父(聖ザベリオ宣教会)
【問い合わせ先】真命山諸宗教対話センター
☎ 0968・85・3100 ☎ 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蛸浦1391-7
E-mail: shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

■ディエゴ加賀山隼人殉教記念ミサ
【日時】10月15日(日) 14時～
【ミサ司式】ヨゼフ・アベイヤ
【場所】小倉教会
【問合せ先】☎ 0930・22・
0805 行橋・豊津教会主任、
下町豊重神父

■不動山殉教者祈念祭
※4年ぶりに行われます。
【日時】11月5日(日) 14時～
【ミサ司式】ヨゼフ・アベイヤ
【場所】不動ふれあい
体育館(佐賀県嬉野市嬉野町
大字不動山甲1326)
【問合せ先】☎ 0952・23・
4754 (佐賀教会)
■北九州地区宣教司牧評議会
主催 聖書講座・聖書をどう
読むか全4回 第3回「信仰

書である聖書」
【日時】10月8日(日) 14時～
15時30分(場所) 新田原教会
【問合せ先】☎ 0930・22・
0805 行橋・豊津教会主任、
下町豊重神父
■美野島司牧センター
○ホームレスの方に温かい食
事と衣類 毎週火曜日10時
【ホームレス支援炊出し
調理 第1・第3金曜日14時
夜回り 20時から

○路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時
【問合せ先】☎ 092・431・
1419 コース・マルセル神父
■聖体といやしの家
ご聖体のある家でミサと礼拝のある今を過ごしてみませんか？必要があればシスターや社会福祉士が同伴できます。
【問合せ先】☎ 080・47
35・6971 礼拝会

今号にはたくさんの教会家族から、楽しく実り豊かな夏の思い出が寄せられました。「シノドス」共に歩む」喜びをもっともっと多くの人々と共有できますように。(W)

編集後記

「水巻教会 バトナムコミュニティ」
Anna Ngọc Huyền アンナ・ゴック・フェン (Viet Nam)

With khoảng 60 thành viên đang cùng nhau hoạt động, tham gia thánh lễ mỗi tuần, cùng nhau tập hát, sinh hoạt và là một nguồn năng lượng trẻ đến từ nhóm Công Giáo Mizumaki. Những người trẻ ấy mặc dù phải xa quê hương để học tập, làm việc nhưng vẫn luôn giữ cho mình ngọn lửa nhiệt huyết, hi sinh, phụng vụ và học hỏi Lời Chúa. Ban đầu khi mới thành lập, nhóm chỉ khoảng 10 thành viên, nhưng trong quá trình hoạt động, nhờ sự siêng năng và lòng yêu mến cũng như được sự quan tâm, nâng đỡ, chỉ dạy của cha xứ, cha JB NVThuyen. Và đặc biệt hơn nữa người Nhật trong giáo xứ luôn giúp đỡ về mặt tinh thần cũng như vật chất, dần dần thành viên trong nhóm cũng được tăng lên đáng kể.

Một tháng với một thánh lễ Tiếng Việt, các thành viên trong nhóm quây quần tập hát, tổ chức dâng hoa kính Đức Mẹ vào tháng năm theo truyền thống tốt đẹp của người Công Giáo. Ngoài ra, nhóm cũng có các hoạt động diễn nguyện đêm Giáng sinh, để lan tỏa tình yêu thương của Thiên Chúa quan phòng, và cũng nhận được rất nhiều lời động viên khích lệ của cộng đoàn nơi đây. Sau mỗi thánh lễ tiếng Việt, mọi người sẽ quây quần bên nhau tổ chức sinh nhật cho các bạn trong tháng, tặng những món quà để thương cũng như thổi bánh cùng nhau, trao nhau những lời chúc thân tình... để tạo nên một nhịp sống sôi nổi trong nhóm. Không chỉ đồng hành cùng nhau nơi giáo đường, các bạn trẻ Mizumaki cũng đồng hành cùng nhau trong các sinh hoạt hàng ngày, cùng nhau ăn uống, đi biển, học tiếng Nhật... để tăng thêm sự gắn kết, tình liên đới giữa các thành viên. Nhóm Mizumaki chúng con là những người con bé nhỏ của Chúa, luôn mong sự hợp nhất với tất cả mọi người trong Đức Kitô và là anh chị em với nhau.

Chúng con hi vọng mọi người đến với Mizumaki luôn cảm nhận được sự nhiệt huyết, tình cảm đồng đội và trái tim sống động trong mỗi chúng con. Xin mọi người cũng thêm lời cầu nguyện cho nhóm chúng con ngày càng phát triển, có thêm nhiều anh chị em sống chung quanh biết đến để cùng nhau sinh hoạt và cộng tác. Mizumaki chúng con luôn hân hoan đón chào!

私たちは約60人は毎週ミサに参加し、歌の練習や教会にきている日本人と話をしたりしています。この集まりはいつもキリストの言葉に倣い勉強しています。はじめは10人程度でしたが、活動をしていく過程で教会の皆さんからの物質的、精神的な支えによってメンバーも次第に増えていきました。

私たちは月に一度(第三日曜日)、ベトナム語のミサに与っています。母国語で聖歌を歌い、5月の聖母月にはベトナムでの伝統的な典礼のかたち、各自が花を持ち寄り、内陣に安置した聖母像に捧げてミサを行いました。また、昨年の降誕祭にはメンバーが集まって練習し、ミサが始まる前にイエス様の生誕劇を披露しました。教会の皆さんも大変喜んで下さり、褒められたことで、私たちもとても感動したことを覚えています。さらに、私たちは月に一度のベトナム語のミサの後、信徒会館でその月に誕生日を迎えたメンバーの誕生会を開いています。お祝いの言葉や手作りのケーキやプレゼントなどを分かち合い、楽しい歌で毎回盛り上がりしています。また、教会内における活動だけでなく、連休の時や時間のある時には、日本語の勉強と一緒に食事を作って食べたり、海に出かけたりしてグループの親睦を深めています。

私たちは、神さまの子どもとして、同じ家族の兄弟姉妹として皆で一致していることに心から希望を持っています。皆さま、水巻教会の熱心な信徒の方々、そして太陽のように熱く、温かい心を持ったベトナム人の兄弟姉妹たちに会いに来て下さいね。



仲間と海水浴へ！

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金(祝日を除く)

10:00～12:00 13:00～16:00

安心してお話が出来る人をお探しの方へ。

メール: hanahanahimawari2020@gmail.com

☎ 080-4735-6971 (9:00～21:00)

※対応できないときもあります。

※原則1回30分です。

LINE 右記QRコード

—ぶろじゅくとHana—

ぶろじゅくとHanaは、社会福祉士・看護師・シスターなどが在籍している。礼拝会を中心としたグループです。



私たちと一緒に
おはなしませんか？
10代～40代のみならず
こんな悩みをお持ちでいませんか？
相談は無料です。
必要に応じて専門機関の情報提供もいたします。ひとりで悩まずに、お気軽にご相談ください。秘密は厳守します。